

環境放射能研究室

教員名：高辻俊宏

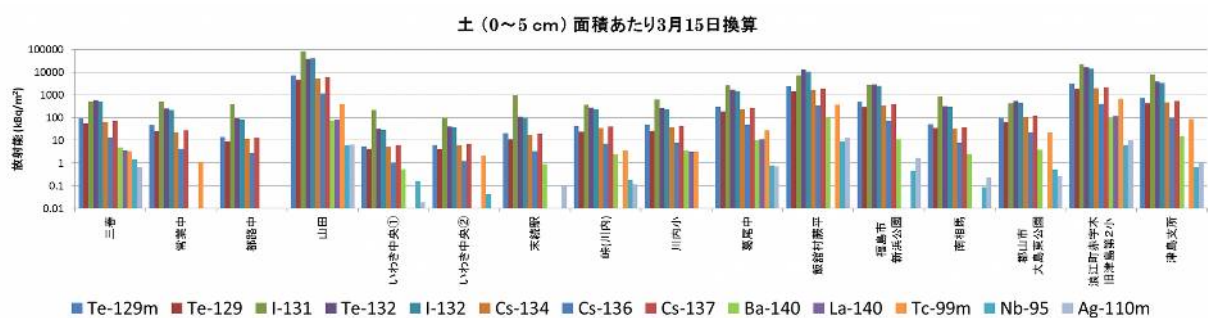
● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

福島第一原発事故により大量の放射性物質が環境中に飛散しました。発電所周辺の放射線の線量は異常に高く、がんになるリスクが高くなるため、人が住めない地域もできてしまいました。周囲の人が住んでいる地域も、通常より線量が高く、他の地域よりも健康に注意が必要となっています。発電所から遠く離れた長崎に住む私たちも、もとより自然放射線を避けることはできず、



ゲルマニウム半導体検出器

病気の診断には X 線写真の撮影も必要ですから、放射線被ばくから完全に逃れることはできず、放射線のリスクから無縁ではありません。放射線はがんになる確率を上げ、自然放射線と同程度の 2 ミリシーベルト/年の線量でも、交通事故死（2万人に 1 人程度）以上のリスクになるとされています。当研究室では、放射性物質が環境中でどのような動きをしているのか、放射線の生体影響はどのようにしておこるのか、などを研究しています。環境放射能の分析は、大気環境の研究にも利用できます。



事故直後、福島第一原子力発電所周辺の土壌に含まれていた放射性物質(当研究室測定)

● 先輩はどんなところに就職しているの？

放射線の測定や放射線の安全管理を行う会社、医科大学の放射線管理部門、非破壊検査会社、製薬・臨床検査会社、放射線に特に関係のない技術開発の会社、環境コンサルタント会社、食品工業会社、商業施設運営会社、公務員など多種多様なところに就職しています。